



かけはし

平成29年 1月 1日

ふるさと智恵文に誇りをもつ輝く智小っ子を「地域ぐるみ」で育てましょう

笑う門には福来たる

校長 川崎 直人

新しい年を迎えて送られてくる年賀状に、「笑門来福～笑う門には福来たる～」という言葉を見かけることがあります。これはお正月などによく使われる縁起のよい言葉です。人間にとって笑うことはとても大切なことで、自分自身の気持ちを高揚させたり、周囲の雰囲気や和ませたり、時には病気の痛みを和らげるすることもあります。



笑いは、人間にとって勇気や希望などをもたらす不思議な力を秘めています。残念ながら私たちの周りには「悪い笑い」も存在します。たとえば、他人の失敗を嘲り笑う嘲笑は、悪い笑いの代表的なものです。

ずいぶん前のことですが、日本青少年研究所長の千石保氏は、著書の中で、現代社会における「まじめの崩壊」を憂いながら、その背景としてマスメディアが発信している悪い笑いについて警鐘を鳴らしていました。その中でも、当時から人気の高かったS、T、Tなどの超有名芸能人の笑いを鋭く批判しています。なぜなら、彼らの提供する笑いの多くが、他人の失敗を嘲笑ったり、まじめに取り組む姿を茶化したりするなど、いわば他人をバカにして笑いを巻き起こしているからです。他人の失敗や災いを笑うことは、人間として絶対に許してはならない卑劣な行為であることは言うまでもありません。

私たちが心から楽しく笑い合えるためには、いつもまわりに対して思いやりの心や慈しみの心を持つことが大切です。それは大人が手本を見せなければなりません。

新しい年を迎え、改めて爽やかな笑いと思いやりについてご家庭で語り合っていただけだと願っています。2017年が笑いに満ちた楽しい社会、地域、学校になることを心から祈っています。

今年も智恵文小学校職員一同、子供達の健やかな成長のために一致団結して頑張っていきますのでよろしくお願い申し上げます。